

# 岩手山麓 手づくりの里





# 南部鉄器

## 岩 鋳



住 盛岡市南仙北2-23-9  
TEL 019-635-2501  
営 8:30~17:30  
休 火曜、1/31、1/1

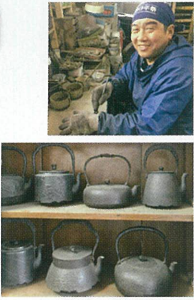


色とりどりの鉄器や鍋敷き、キャンドルスタンドなど、その種類は1800点にも及ぶ。工房では、常時、鉄瓶の製作光景が見学できる。

## 御釜屋

創業は万治2(1659)年。古銭で鉄瓶を作る唯一の工房。仕上げに浄法寺漆を使うなどして、砂や炭なども全て南部藩の地元産にこだわる。

住 盛岡市盛岡駅西通2-1-23  
TEL 019-601-6870  
営 10:00~17:00  
休 不定休



## 鈴木盛久工房

藩政時代から15代続く老舗の一つ。草草から完成まで一貫生産を行い、国内外でも評価が高い。どこから見てもぶれない洒脱さがある。

住 盛岡市南大通1-6-7  
TEL 019-622-3809  
営 9:00~17:00  
休 日曜



## 鈴木主善堂



住 盛岡市南大通1-1-25  
TEL 019-652-2233  
営 9:00~17:00  
休 日曜

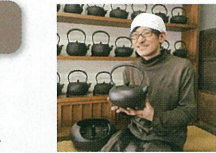


端正で複雑な形を表現できる技法は茶道界でも定評がある老舗。工房には盛岡市民俗文化財の足踏み式ふいご「踏躰(たたら)」が現存。

## 釜 定

横から見た時に奥ゆかしい美しさがある「鋳口」を多く製作。伝統型鉄瓶以外にも、木の取っ手が取り外せる鉄鍋は男女ともに人気。

住 盛岡市紺屋町2-5  
TEL 019-622-3911  
営 9:00~17:30  
休 日曜



## 虎山工房



住 盛岡市繁字尾入野64-102 手づくり村内  
TEL 019-689-2565  
営 8:40~17:00  
休 年末年始



## 薫山工房



住 盛岡市繁字尾入野64-102 手づくり村内  
TEL 019-689-2657  
営 8:40~17:00  
休 年末年始



## 藤枝工房

家族の輪に迎えてこそ鉄瓶。その魅力を実演を交えて入門者に易しく説明。趣味のオーディオや写真も見所のユニークな工房。

住 盛岡市繁字尾入野64-102 手づくり村内  
TEL 019-689-2607  
営 8:40~17:00  
休 年末年始



## 田山鐵瓶工房

13代鈴木盛久から薫陶を受けた後、2011年に独立。釜と蓋を一つの形として捉えた、なめらかな形状とシンプルな鉄肌ながら力強さがある。

住 滝沢市大釜風林445-5  
TEL 019-686-2145  
営 9:00~17:00  
休 土曜・日曜・祝日



## 七つ森工房



15歳に鋳物の世界に入り約半世紀。佐々木さんが追求するものは使いやすさ。左右非対称の取っ手は注ぎやすさに配慮している。

住 雫石町沼返60-48  
TEL 019-692-5080  
営 事前にお電話を  
休 不定休



## 鉄瓶工房 高橋



女性目線の軽い鉄瓶が特徴。要望に応じて、約25種類のデザインと鳥や猫などのつまみを自由に組み合わせられるのも魅力。

住 雫石町沼返178  
TEL 019-681-4099

## 紅蓮堂



50年後に使い古されているよう、使い手に沿った鉄器を制作。太陽をモチーフにした「日和」は平成29年度日本民藝館展の入賞作。

住 盛岡市川目町13-5  
TEL 019-681-8445  
営 事前にお電話を  
休 不定休



## 田中鉦工房

鉄瓶の持ち手を作る盛岡で唯一の鉦屋。釜屋の注文に応じた鉦をはじめ、袋製品による火香や灰ならし、茶道具なども手掛ける。

住 盛岡市繁字尾入野64-102 手づくり村内  
TEL 019-689-2656  
営 8:40~17:00  
休 年末年始



# 岩谷堂筆筒

## 中千家具製作所

岩手のケヤキなどで重厚な表面を形作り、内部は南部桐を使用。漆で仕上げ、金具を散りばめた筆筒は親子や孫の代まで長く使える。

住 盛岡市繁字尾入野64-102 手づくり村内  
TEL 019-689-2151  
営 8:40~17:00  
休 年末年始



# 木工・表具・建具

## 五葉社

無描彩のキナキナ坊や安系のもりおこけしなど、伝統工技を守りながら、創作こけしや郷土玩具も制作。随時、体験可。

住 盛岡市北夕顔瀬町9-24  
TEL 019-646-9439  
営 8:30~17:00  
休 不定休



## 櫻(さくら)工房

自身の目で仕入れた岩手県産産葉樹の丸太を主材料に曲線美を凝らした家具をはじめ、端材で茶目つきの小物や玩具も制作。

住 雫石町南畑28-335  
TEL 019-695-2118  
営 事前にお電話を  
休 不定休



## 渡引建具店



息を呑む精巧な建具から岩手生まれの小型「和音(かずね)」まで幅広く製作。工房で和音の演奏指導や体験も開催。

住 盛岡市八幡町8-26  
TEL 019-622-4682  
営 8:30~17:00  
休 土曜・日曜

## Butterfly Garden

絵を描くように生まれる木工作品。木に異素材を組み合わせたミニチュアハウスをはじめ、スツールなどの家具類も遊び心がある。

住 盛岡市大館町21-39  
TEL 080-3198-8828  
営 事前にお電話を  
休 不定休



## 筆筒工房はこや



明治まで船内金庫として活躍した船筆筒を独学で再現。外はケヤキの1枚板、内は岩手の桐で、1500点以上の金具、仕上げを一貫製作。

住 紫波町山屋宇外村262  
TEL 019-672-5161  
営 夜明けから日没まで  
休 不定休

# 編細工

## 雫石民芸社

鬼くるみの樹皮で編んだバッグや小物は香りが良く、使うほどに光沢が生まれる。高品質ながら自社栽培だからできる価格帯も魅力。

住 盛岡市繁字尾入野64-102 盛岡手づくり村内  
TEL 019-689-2279  
営 8:40~17:00  
休 年末年始



## しばた工芸



材料は岩手県北部に自生する南部鈴竹。他で採れない細い竹で、しなやかさと丈夫さがある。オリジナルの色に変化する楽しみも。

住 盛岡市繁字尾入野64-102 盛岡手づくり村内  
TEL 019-689-2736  
営 8:40~17:00  
休 年末年始

# ホームスパン・織物

## みちのくあかね会

北国の羊毛文化を伝承。染めから織りまでをほぼ手作業で行い、軽くて暖かいマフラーやネクタイなどを発表。日々の差し色に。



住 盛岡市名須川町4-30  
TEL 019-622-2648  
営 10:00~16:00  
休 土曜・日曜・祝日

## しずくしいし麻の会

南部藩の献上品とされ武士が愛用していた雫石独特の亀甲織。麻を栽培し、野山の草木花で染めた糸で、六角形の亀甲模様を織り上げている。

住 雫石町高前田155 町業者トレーニングセンター内  
TEL 019-692-0122  
営 10:00~15:00  
休 土曜・日曜・祭日

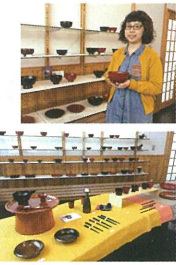


# 漆 器

## 安比塗漆器工房

種類豊富な工房直営店なら自分の手に一番馴染む器が見つかるはず。カレーやケーキなど料理を選ばない漆器の魅力伝えていく。

住 八幡平市吹田(かずまだ)230  
TEL 0195-63-1065  
営 9:30~17:00  
休 3~11月は月曜 12月~2月は日曜・月曜



## 漆工房 比呂志



厳選した山中産木地に半年を費やして塗り上げた漆器は30年の愛用者も。丈夫で、使うほどにツヤが出てくる。育てがいのある器。

住 盛岡市みたち 4-7-41  
TEL 019-641-7209  
営 10:30~18:00  
休 日曜・祝祭日

# 染 染 物

## 小野染彩所



藩政時代から続く型染の老舗。由緒ある型を現代的にあしらった着物やトートバッグ、名刺入れが人気。盛岡小さな博物館の第1号。

住 盛岡市材木町10-16  
TEL 019-652-4116  
営 8:30~18:00  
休 なし

## 染屋たきうら

化学的な薬品を一切使用せず、昔ながらの木灰水発酵建てによる藍染めで衣類や小物などを制作。使うほどに色合いが美しく長く楽しめる。

住 盛岡市繁字尾入野64-102 盛岡手づくり村内  
TEL 019-689-2345  
営 8:40~17:00  
休 年末年始



## 藍染工房 ねこの染物屋



「染屋たきうら」を経て2012年に独立。江戸時代から続く木灰汁発酵建てによる本藍染めで手ぬぐいやふんどし、住 紫波町高水寺字田中107 スツールなどを制作。  
住 紫波町高水寺字田中107  
TEL 019-676-4001  
営 9:00~17:00  
休 ほぼ無休

# 宝飾・小物

## 螺鈿 澤井工房



黒檀に三陸産アワビ貝などを散りばめ、浄法寺漆を塗っては研ぎ出す工程を繰り返したアクセサリ。貴石と違った輝きがある。



住 盛岡市東松園2-1-4  
TEL 019-601-8646  
営 11:00~17:00  
休 日曜・月曜

## 流工房

黒染色や漆加工で加飾した個性豊かな南部鉄アクセサリを製作。デザイン性に優れた日用雑貨や建築装飾も手掛ける。

住 雫石町長山七ツ田28-5  
TEL 019-691-2340  
営 10:00~16:00  
休 不定休



## Craft Production WATARU



金属のイメージを覆すような柔らかく詩的な表情の鋳造アクセサリをはじめ、金属と革が織り成す異素材作品も試みている。  
住 盛岡市(非公開)  
TEL 090-8589-0548

# 陶 器

## 如月窯



白鳥が飛来する池のほとり、四季折々に土の香りがする作陶を目指す。ゆったりと大らかな器はどんな料理も受け止めてくれる。

住 盛岡市高松1-2-36  
TEL 019-661-5839  
営 事前にお電話を  
休 不定休



## 七ツ森十喜工房

南部曲り屋や童話のワンシーンのような物語性のある置物、盛岡さんさ踊りの太鼓など、岩手らしさが詰まった作品群。

住 雫石町板橋30-92  
TEL 019-692-6512  
営 9:00~17:00  
休 日曜・祭日



## 北杜窯



白泥の柔らかな白と素地の黒とのコントラストが美しく、静ひつさ漂う意匠が施されている。量り売りのオブジェ「グラムハウス」も人気。  
住 盛岡市繁字尾入野64-102 盛岡手づくり村内  
TEL 019-689-2346  
営 8:40~17:00  
休 年末年始

## 長内工房

岩手山麓の森を舞台にした置物「森のメッセンジャー」は手の平サイズの愛嬌たっぷりな動物たちが伝言を伝えてくれる。

住 滝沢市後496-5  
TEL 019-688-5702  
営 10:00~16:00  
休 月曜・不定休



## tamari窯

野に咲く花や動物の愛らしい絵付け。シンプルでいて温かみのある鍋(しのぎ)、ふんわりと柔らかい表情の二重がけ釉が代表作。

住 八幡平市平館 8-126-2  
TEL 090-5185-6723  
営 10:00~17:00  
休 訪問時は事前に電話を



## 南部焼 不來方窯



益子での修行を経て昭和45年に築窯。粘土は一貫して岩手産。1350度の高温で焼き上げるので、深みのある光沢と丈夫さを兼ね備える。

住 盛岡市山岸字洞清水下 32-121  
TEL 019-662-1635  
営 9:00~18:00  
休 日曜(応相談)